

第56回 岡山県高等学校総合体育大会バスケットボール競技の部

日時	2017年6月18日	10:00	女子	決勝
会場名	笠岡総合体育館			(M)コート

○ 就 実 97	$\left\{ \begin{array}{l} 26 - 9 \\ 23 - 12 \\ 25 - 9 \\ 23 - 4 \end{array} \right\}$	34 岡山東商業 ●
----------	---	------------

審判名	主 審	前花 直哉	副 審	濱本 淳子, 中嶋 研仁
-----	-----	-------	-----	--------------

選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
田村 幸子(C) *	4	21		9	3	1	岡崎 友恵(C) *	4	9	1	3		3
那須 愛加 *	5	23	1	10		2	荒木 千亜希 *	5	6	2			
青木 南々華	6	-					小坂 侑奈	6	-				
森 夕佳 *	7	33		15	3	1	島添 春華	7	0				2
吉長 夏生	8	0					藤原 光彩 *	8	8		4		5
平尾 美玖	9	-					藤川 梨那 *	9	4		1	2	1
岩谷 樹	10	-					川上 美乃里 *	10	5	1	1		2
小坂 幸羽 *	11	18	1	7	1	2	富浦 沙樹	11	-				
井上 玲菜	12	-					山本 侑果	12	-				
平井 日奈子	13	-					服部 菜々	13	-				
中矢 愛乃 *	14	2		1		2	今井 沙都	14	-				
山中 茜音	15	-					森景 莉音	15	-				
岡村 季保	16	0					平田 葉菜	16	-				
松尾 梨央	17	0					永瀬 愛依	17	-				
北村 歩	18	-					守友 佑	18	2		1		1
合 計		97	2	42	7	8	合 計		34	4	10	2	14

戦 評

1Q序盤、就実が⑪の連続得点で主導権を握る。東商もシュートチャンスは作るが、決めることができない。残り7分で9-0とされ、東商のタイムアウト。直後に東商⑧が裏パスを得点に繋げるが、すかさず就実も⑪の3Pで突き放す。東商は④が3Pを含めた連続得点で食らいつくが、その後は得点が止まる。1Q終了間際には就実がオールコートディフェンスで東商のミス誘いを、26-9とさらに引き離れた。

2Q開始後も就実⑤や⑪が東商のミス誘い得点を重ね、開始1分で東商はたまたまタイムアウト。東商は冷静さを取り戻すが、得点は進まない。一方で就実の高さを生かして得点を重ねる。残り7分、東商は得意とするピックスクリーンから⑱が得点し、続けて④もドライブを決める。しかし残り5分、東商⑧が就実④に対する3つ目のファウルで交代する。インサイドの要を欠いてしまった東商だが、東商⑤の速攻からの3Pで何とか食らいつく。終了間際には東商⑩も3Pを決めるが、49-21と点差が開く形で前半を終えた。

3Q序盤、東商はリバウンドからの速攻でゲームの流れを引き戻す。東商⑤の3Pで後半最初の得点を奪うと、速攻から⑧のゴール下に繋げるなど、チームの動きにもリズムが生まれる。一方就実も、⑦のインサイドや、⑪の速さを生かした攻撃で得点を重ねる。東商は序盤こそ流れを掴んだものの、終盤にかけてはミスが目立ち得点ができない。3Q終了のブザーと同時に就実⑤が3Pを決め、71-30で3Q終了。

4Q、東商は④が鋭いドライブから得点し幸先の良いスタートを切るが、その後は得点が伸びず苦しい展開になる。その間、就実④から⑦への合わせのプレー等で得点を重ねる。残り5分、リバウンドからのルーズボールを奪った就実④にそのままボールを運んで得点を決められ東商タイムアウト。その後、東商④が⑧の得点をアシストして流れを掴もうとするが、うまくいかない。一方、就実④は終始落ち着いて得点を重ねていき、97-34で就実が4年連続43回目(岡山県総体は34回目)の優勝を果たした。